

Q0001

ソフトウェア・OS

タグ：プロセス

用語：プロセスの確認ポイント1：実行中のプログラムとその資源を管理する単位

次の説明に最も合う用語はどれか。実行中のプログラムとその資源を管理する単位

- A. プロセス
- B. スレッド
- C. デッドロック
- D. インタプリタ

答え・解説

Q0001 正答：A. プロセス

解説：プロセスは、実行中のプログラムとその資源を管理する単位。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0002

ソフトウェア・OS

タグ：プロセス

用語：プロセスの確認ポイント2：実行中のプログラムとその資源を管理する単位

プロセスの説明として最も適切なものはどれか。

- A. プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位
- B. 実行中のプログラムとその資源を管理する単位
- C. 複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態
- D. ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系

答え・解説

Q0002 正答：B. 実行中のプログラムとその資源を管理する単位

解説：プロセスの要点は「実行中のプログラムとその資源を管理する単位」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0003

ソフトウェア・OS

タグ：プロセス

用語：プロセスの確認ポイント3：実行中のプログラムとその資源を管理する単位

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「プロセス」である。

- A. スレッド：実行中のプログラムとその資源を管理する単位
- B. デッドロック：実行中のプログラムとその資源を管理する単位
- C. プロセス：実行中のプログラムとその資源を管理する単位
- D. インタプリタ：実行中のプログラムとその資源を管理する単位

答え・解説

Q0003 正答：C. プロセス：実行中のプログラムとその資源を管理する単位

解説：正しい組合せは「プロセス：実行中のプログラムとその資源を管理する単位」。
用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0004

ソフトウェア・OS

タグ：プロセス

用語：プロセスの確認ポイント4：実行中のプログラムとその資源を管理する単位

「プロセス」は、実行中のプログラムとその資源を管理する単位。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0004 正答：○

解説：正しい。プロセスは実行中のプログラムとその資源を管理する単位。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0005

ソフトウェア・OS

タグ：プロセス

用語：プロセスの確認ポイント5：実行中のプログラムとその資源を管理する単位

組織が「実行中のプログラムとその資源を管理する単位」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. プロセス
- B. スレッド
- C. デッドロック
- D. インタプリタ

答え・解説

Q0005 正答：A. プロセス

解説：この目的に対応するのはプロセスである。実行中のプログラムとその資源を管理する単位という機能・考え方を持つためである。

Q0006

ソフトウェア・OS

タグ：プロセス

用語：プロセスの確認ポイント6：実行中のプログラムとその資源を管理する単位

「プロセス」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系
- B. 実行中のプログラムとその資源を管理する単位
- C. 複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態
- D. プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位

答え・解説

Q0006 正答：B. 実行中のプログラムとその資源を管理する単位

解説：プロセスは実行中のプログラムとその資源を管理する単位。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0007

ソフトウェア・OS

タグ：プロセス

用語：プロセスの確認ポイント7：実行中のプログラムとその資源を管理する単位

「プロセス」は、プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0007 正答：×

解説：誤り。記述はスレッドの説明である。プロセスは実行中のプログラムとその資源を管理する単位。

Q0008

ソフトウェア・OS

タグ：プロセス

用語：プロセスの確認ポイント8：実行中のプログラムとその資源を管理する単位

次の状況で中心となる論点はどれか。「実行中のプログラムとその資源を管理する単位」ことが求められている。

- A. デッドロック
- B. インタプリタ
- C. スレッド
- D. プロセス

答え・解説

Q0008 正答：D. プロセス

解説：中心となる論点はプロセスである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0009

ソフトウェア・OS

タグ：プロセス

用語：プロセスの確認ポイント9：実行中のプログラムとその資源を管理する単位

「実行中のプログラムとその資源を管理する単位」という特徴を持つものを選べ。

- A. プロセス
- B. インタプリタ
- C. デッドロック
- D. スレッド

答え・解説

Q0009 正答：A. プロセス

解説：プロセスが該当する。定義は実行中のプログラムとその資源を管理する単位であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0010

ソフトウェア・OS

タグ：スレッド

用語：スレッドの確認ポイント1：プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位

次の説明に最も合う用語はどれか。プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位

- A. スケジューラ
- B. スレッド
- C. セマフォ
- D. API

答え・解説

Q0010 正答：B. スレッド

解説：スレッドは、プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0011

ソフトウェア・OS

タグ：スレッド

用語：スレッドの確認ポイント2：プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位

スレッドの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能
- B. 共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構
- C. プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位
- D. ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様

答え・解説

Q0011 正答：C. プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位

解説：スレッドの要点は「プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0012

ソフトウェア・OS

タグ：スレッド

用語：スレッドの確認ポイント3：プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「スレッド」である。

- A. スケジューラ：プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位
- B. セマフォ：プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位
- C. API：プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位
- D. スレッド：プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位

答え・解説

Q0012 正答：D. スレッド：プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位

解説：正しい組合せは「スレッド：プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0013

ソフトウェア・OS

タグ：スレッド

用語：スレッドの確認ポイント4：プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位

「スレッド」は、プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0013 正答：○

解説：正しい。スレッドはプロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0014

ソフトウェア・OS

タグ：スレッド

用語：スレッドの確認ポイント5：プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位

組織が「プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. スケジューラ
- B. スレッド
- C. セマフォ
- D. API

答え・解説

Q0014 正答：B. スレッド

解説：この目的に対応するのはスレッドである。プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位という機能・考え方を持つためである。

Q0015

ソフトウェア・OS

タグ：スレッド

用語：スレッドの確認ポイント6：プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位

「スレッド」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様
- B. 共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構
- C. プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位
- D. 実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能

答え・解説

Q0015 正答：C. プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位

解説：スレッドはプロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0016

ソフトウェア・OS

タグ：スレッド

用語：スレッドの確認ポイント7：プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位

「スレッド」は、実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0016 正答：×

解説：誤り。記述はスケジューラの説明である。スレッドはプロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位。

Q0017

ソフトウェア・OS

タグ：スレッド

用語：スレッドの確認ポイント8：プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位

次の状況で中心となる論点はどれか。「プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位」ことが求められている。

- A. スレッド
- B. セマフォ
- C. API
- D. スケジューラ

答え・解説

Q0017 正答：A. スレッド

解説：中心となる論点はスレッドである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0018

ソフトウェア・OS

タグ：スレッド

用語：スレッドの確認ポイント9：プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位

「プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位」という特徴を持つものを選び。

- A. API
- B. スレッド
- C. セマフォ
- D. スケジューラ

答え・解説

Q0018 正答：B. スレッド

解説：スレッドが該当する。定義はプロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0019

ソフトウェア・OS

タグ：スケジューラ

用語：スケジューラの確認ポイント1：実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能

次の説明に最も合う用語はどれか。実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能

- A. デッドロック
- B. ファイルシステム
- C. スケジューラ
- D. 仮想化

答え・解説

Q0019 正答：C. スケジューラ

解説：スケジューラは、実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0020

ソフトウェア・OS

タグ：スケジューラ

用語：スケジューラの確認ポイント2：実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能

スケジューラの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態
- B. 記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み
- C. 物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術
- D. 実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能

答え・解説

Q0020 正答：D. 実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能

解説：スケジューラの要点は「実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0021

ソフトウェア・OS

タグ：スケジューラ

用語：スケジューラの確認ポイント3：実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「スケジューラ」である。

- A. スケジューラ：実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能
- B. デッドロック：実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能
- C. ファイルシステム：実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能
- D. 仮想化：実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能

答え・解説

Q0021 正答：A. スケジューラ：実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能

解説：正しい組合せは「スケジューラ：実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0022

ソフトウェア・OS

タグ：スケジューラ

用語：スケジューラの確認ポイント4：実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能

「スケジューラ」は、実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0022 正答：○

解説：正しい。スケジューラは実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0023

ソフトウェア・OS

タグ：スケジューラ

用語：スケジューラの確認ポイント5：実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能

組織が「実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. デッドロック
- B. ファイルシステム
- C. スケジューラ
- D. 仮想化

答え・解説

Q0023 正答：C. スケジューラ

解説：この目的に対応するのはスケジューラである。実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能という機能・考え方を持つためである。

Q0024

ソフトウェア・OS

タグ：スケジューラ

用語：スケジューラの確認ポイント6：実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能

「スケジューラ」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術
- B. 記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み
- C. 複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態
- D. 実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能

答え・解説

Q0024 正答：D. 実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能

解説：スケジューラは実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0025

ソフトウェア・OS

タグ：スケジューラ

用語：スケジューラの確認ポイント7：実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能

「スケジューラ」は、複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0025 正答：×

解説：誤り。記述はデッドロックの説明である。スケジューラは実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能。

Q0026

ソフトウェア・OS

タグ：スケジューラ

用語：スケジューラの確認ポイント8：実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能

次の状況で中心となる論点はどれか。「実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能」ことが求められている。

- A. ファイルシステム
- B. スケジューラ
- C. 仮想化
- D. デッドロック

答え・解説

Q0026 正答：B. スケジューラ

解説：中心となる論点はスケジューラである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0027

ソフトウェア・OS

タグ：スケジューラ

用語：スケジューラの確認ポイント9：実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能

「実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能」という特徴を持つものを選び。

- A. 仮想化
- B. ファイルシステム
- C. スケジューラ
- D. デッドロック

答え・解説

Q0027 正答：C. スケジューラ

解説：スケジューラが該当する。定義は実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0028

ソフトウェア・OS

タグ：デッドロック

用語：デッドロックの確認ポイント1：複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態

次の説明に最も合う用語はどれか。複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態

- A. セマフォ
- B. コンパイラ
- C. プロセス
- D. デッドロック

答え・解説

Q0028 正答：D. デッドロック

解説：デッドロックは、複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0029

ソフトウェア・OS

タグ：デッドロック

用語：デッドロックの確認ポイント2：複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態

デッドロックの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態
- B. 共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構
- C. ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系
- D. 実行中のプログラムとその資源を管理する単位

答え・解説

Q0029 正答：A. 複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態

解説：デッドロックの要点は「複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0030

ソフトウェア・OS

タグ：デッドロック

用語：デッドロックの確認ポイント3：複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「デッドロック」である。

- A. セマフォ：複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態
- B. デッドロック：複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態
- C. コンパイラ：複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態
- D. プロセス：複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態

答え・解説

Q0030 正答：B. デッドロック：複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態

解説：正しい組合せは「デッドロック：複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0031

ソフトウェア・OS

タグ：デッドロック

用語：デッドロックの確認ポイント4：複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態

「デッドロック」は、複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0031 正答：○

解説：正しい。デッドロックは複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0032

ソフトウェア・OS

タグ：デッドロック

用語：デッドロックの確認ポイント5：複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態

組織が「複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. セマフォ
- B. コンパイラ
- C. プロセス
- D. デッドロック

答え・解説

Q0032 正答：D. デッドロック

解説：この目的に対応するのはデッドロックである。複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態という機能・考え方を持つためである。

Q0033

ソフトウェア・OS

タグ：デッドロック

用語：デッドロックの確認ポイント6：複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態

「デッドロック」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態
- B. 実行中のプログラムとその資源を管理する単位
- C. ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系
- D. 共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構

答え・解説

Q0033 正答：A. 複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態

解説：デッドロックは複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0034

ソフトウェア・OS

タグ：デッドロック

用語：デッドロックの確認ポイント7：複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態

「デッドロック」は、共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0034 正答：×

解説：誤り。記述はセマフォの説明である。デッドロックは複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態。

Q0035

ソフトウェア・OS

タグ：デッドロック

用語：デッドロックの確認ポイント8：複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態

次の状況で中心となる論点はどれか。「複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態」ことが求められている。

- A. コンパイラ
- B. プロセス
- C. デッドロック
- D. セマフォ

答え・解説

Q0035 正答：C. デッドロック

解説：中心となる論点はデッドロックである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0036

ソフトウェア・OS

タグ：デッドロック

用語：デッドロックの確認ポイント9：複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態

「複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態」という特徴を持つものを選べ。

- A. プロセス
- B. コンパイラ
- C. セマフォ
- D. デッドロック

答え・解説

Q0036 正答：D. デッドロック

解説：デッドロックが該当する。定義は複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0037

ソフトウェア・OS

タグ：セマフォ

用語：セマフォの確認ポイント1：共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構

次の説明に最も合う用語はどれか。共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構

- A. セマフォ
- B. ファイルシステム
- C. インタプリタ
- D. スレッド

答え・解説

Q0037 正答：A. セマフォ

解説：セマフォは、共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0038

ソフトウェア・OS

タグ：セマフォ

用語：セマフォの確認ポイント2：共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構

セマフォの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み
- B. 共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構
- C. ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系
- D. プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位

答え・解説

Q0038 正答：B. 共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構

解説：セマフォの要点は「共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0039

ソフトウェア・OS

タグ：セマフォ

用語：セマフォの確認ポイント3：共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「セマフォ」である。

- A. ファイルシステム：共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構
- B. インタプリタ：共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構
- C. セマフォ：共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構
- D. スレッド：共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構

答え・解説

Q0039 正答：C. セマフォ：共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構

解説：正しい組合せは「セマフォ：共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0040

ソフトウェア・OS

タグ：セマフォ

用語：セマフォの確認ポイント4：共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構

「セマフォ」は、共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0040 正答：○

解説：正しい。セマフォは共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0041

ソフトウェア・OS

タグ：セマフォ

用語：セマフォの確認ポイント5：共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構

組織が「共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. セマフォ
- B. ファイルシステム
- C. インタプリタ
- D. スレッド

答え・解説

Q0041 正答：A. セマフォ

解説：この目的に対応するのはセマフォである。共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構という機能・考え方を持つためである。

Q0042

ソフトウェア・OS

タグ：セマフォ

用語：セマフォの確認ポイント6：共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構

「セマフォ」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位
- B. 共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構
- C. ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系
- D. 記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み

答え・解説

Q0042 正答：B. 共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構

解説：セマフォは共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0043

ソフトウェア・OS

タグ：セマフォ

用語：セマフォの確認ポイント7：共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構

「セマフォ」は、記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0043 正答：×

解説：誤り。記述はファイルシステムの説明である。セマフォは共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構。

Q0044

ソフトウェア・OS

タグ：セマフォ

用語：セマフォの確認ポイント8：共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構

次の状況で中心となる論点はどれか。「共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構」ことが求められている。

- A. インタプリタ
- B. スレッド
- C. ファイルシステム
- D. セマフォ

答え・解説

Q0044 正答：D. セマフォ

解説：中心となる論点はセマフォである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0045

ソフトウェア・OS

タグ：セマフォ

用語：セマフォの確認ポイント9：共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構

「共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構」という特徴を持つものを選び。

- A. セマフォ
- B. スレッド
- C. インタプリタ
- D. ファイルシステム

答え・解説

Q0045 正答：A. セマフォ

解説：セマフォが該当する。定義は共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0046

ソフトウェア・OS

タグ：ファイルシステム

用語：ファイルシステムの確認ポイント1：記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み

次の説明に最も合う用語はどれか。記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み

- A. コンパイラ
- B. ファイルシステム
- C. API
- D. スケジューラ

答え・解説

Q0046 正答：B. ファイルシステム

解説：ファイルシステムは、記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0047

ソフトウェア・OS

タグ：ファイルシステム

用語：ファイルシステムの確認ポイント2：記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み

ファイルシステムの説明として最も適切なものはどれか。

- A. ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系
- B. ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様
- C. 記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み
- D. 実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能

答え・解説

Q0047 正答：C. 記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み

解説：ファイルシステムの要点は「記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0048

ソフトウェア・OS

タグ：ファイルシステム

用語：ファイルシステムの確認ポイント3：記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「ファイルシステム」である。

- A. コンパイラ：記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み
- B. API：記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み
- C. スケジューラ：記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み
- D. ファイルシステム：記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み

答え・解説

Q0048 正答：D. ファイルシステム：記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み

解説：正しい組合せは「ファイルシステム：記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0049

ソフトウェア・OS

タグ：ファイルシステム

用語：ファイルシステムの確認ポイント4：記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み

「ファイルシステム」は、記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0049 正答：○

解説：正しい。ファイルシステムは記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0050

ソフトウェア・OS

タグ：ファイルシステム

用語：ファイルシステムの確認ポイント5：記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み

組織が「記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. コンパイラ
- B. ファイルシステム
- C. API
- D. スケジューラ

答え・解説

Q0050 正答：B. ファイルシステム

解説：この目的に対応するのはファイルシステムである。記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組みという機能・考え方を持つためである。

Q0051

ソフトウェア・OS

タグ：ファイルシステム

用語：ファイルシステムの確認ポイント6：記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み

「ファイルシステム」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能
- B. ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様
- C. 記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み
- D. ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系

答え・解説

Q0051 正答：C. 記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み

解説：ファイルシステムは記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0052

ソフトウェア・OS

タグ：ファイルシステム

用語：ファイルシステムの確認ポイント7：記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み

「ファイルシステム」は、ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0052 正答：×

解説：誤り。記述はコンパイラの説明である。ファイルシステムは記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み。

Q0053

ソフトウェア・OS

タグ：ファイルシステム

用語：ファイルシステムの確認ポイント8：記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み

次の状況で中心となる論点はどれか。「記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み」ことが求められている。

- A. ファイルシステム
- B. API
- C. スケジューラ
- D. コンパイラ

答え・解説

Q0053 正答：A. ファイルシステム

解説：中心となる論点はファイルシステムである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0054

ソフトウェア・OS

タグ：ファイルシステム

用語：ファイルシステムの確認ポイント9：記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み

「記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み」という特徴を持つものを選べ。

- A. スケジューラ
- B. ファイルシステム
- C. API
- D. コンパイラ

答え・解説

Q0054 正答：B. ファイルシステム

解説：ファイルシステムが該当する。定義は記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組みであり、他の候補とは機能が異なる。

Q0055

ソフトウェア・OS

タグ：コンパイラ

用語：コンパイラの確認ポイント1：ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系

次の説明に最も合う用語はどれか。ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系

- A. インタプリタ
- B. 仮想化
- C. コンパイラ
- D. デッドロック

答え・解説

Q0055 正答：C. コンパイラ

解説：コンパイラは、ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0056

ソフトウェア・OS

タグ：コンパイラ

用語：コンパイラの確認ポイント2：ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系

コンパイラの説明として最も適切なものはどれか。

- A. ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系
- B. 物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術
- C. 複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態
- D. ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系

答え・解説

Q0056 正答：D. ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系

解説：コンパイラの要点は「ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0057

ソフトウェア・OS

タグ：コンパイラ

用語：コンパイラの確認ポイント3：ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「コンパイラ」である。

- A. コンパイラ：ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系
- B. インタプリタ：ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系
- C. 仮想化：ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系
- D. デッドロック：ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系

答え・解説

Q0057 正答：A. コンパイラ：ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系

解説：正しい組合せは「コンパイラ：ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0058

ソフトウェア・OS

タグ：コンパイラ

用語：コンパイラの確認ポイント4：ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系

「コンパイラ」は、ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0058 正答：○

解説：正しい。コンパイラはソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0059

ソフトウェア・OS

タグ：コンパイラ

用語：コンパイラの確認ポイント5：ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系

組織が「ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. インタプリタ
- B. 仮想化
- C. コンパイラ
- D. デッドロック

答え・解説

Q0059 正答：C. コンパイラ

解説：この目的に対応するのはコンパイラである。ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系という機能・考え方を持つためである。

Q0060

ソフトウェア・OS

タグ：コンパイラ

用語：コンパイラの確認ポイント6：ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系

「コンパイラ」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 複数処理が互いの資源解放を待ち続け進行できない状態
- B. 物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術
- C. ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系
- D. ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系

答え・解説

Q0060 正答：D. ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系

解説：コンパイラはソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0061

ソフトウェア・OS

タグ：コンパイラ

用語：コンパイラの確認ポイント7：ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系

「コンパイラ」は、ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0061 正答：×

解説：誤り。記述はインタプリタの説明である。コンパイラはソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系。

Q0062

ソフトウェア・OS

タグ：コンパイラ

用語：コンパイラの確認ポイント8：ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系

次の状況で中心となる論点はどれか。「ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系」ことが求められている。

- A. 仮想化
- B. コンパイラ
- C. デッドロック
- D. インタプリタ

答え・解説

Q0062 正答：B. コンパイラ

解説：中心となる論点はコンパイラである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0063

ソフトウェア・OS

タグ：コンパイラ

用語：コンパイラの確認ポイント9：ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系

「ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系」という特徴を持つものを選べ。

- A. デッドロック
- B. 仮想化
- C. コンパイラ
- D. インタプリタ

答え・解説

Q0063 正答：C. コンパイラ

解説：コンパイラが該当する。定義はソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0064

ソフトウェア・OS

タグ：インタプリタ

用語：インタプリタの確認ポイント1：ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系

次の説明に最も合う用語はどれか。ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系

- A. API
- B. プロセス
- C. セマフォ
- D. インタプリタ

答え・解説

Q0064 正答：D. インタプリタ

解説：インタプリタは、ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0065

ソフトウェア・OS

タグ：インタプリタ

用語：インタプリタの確認ポイント2：ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系

インタプリタの説明として最も適切なものはどれか。

- A. ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系
- B. ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様
- C. 実行中のプログラムとその資源を管理する単位
- D. 共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構

答え・解説

Q0065 正答：A. ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系

解説：インタプリタの要点は「ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0066

ソフトウェア・OS

タグ：インタプリタ

用語：インタプリタの確認ポイント3：ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「インタプリタ」である。

- A. API：ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系
- B. インタプリタ：ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系
- C. プロセス：ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系
- D. セマフォ：ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系

答え・解説

Q0066 正答：B. インタプリタ：ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系

解説：正しい組合せは「インタプリタ：ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0067

ソフトウェア・OS

タグ：インタプリタ

用語：インタプリタの確認ポイント4：ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系

「インタプリタ」は、ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0067 正答：○

解説：正しい。インタプリタはソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0068

ソフトウェア・OS

タグ：インタプリタ

用語：インタプリタの確認ポイント5：ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系

組織が「ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. API
- B. プロセス
- C. セマフォ
- D. インタプリタ

答え・解説

Q0068 正答：D. インタプリタ

解説：この目的に対応するのはインタプリタである。ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系という機能・考え方を持つためである。

Q0069

ソフトウェア・OS

タグ：インタプリタ

用語：インタプリタの確認ポイント6：ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系

「インタプリタ」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系
- B. 共有資源への同時アクセス数を制御する同期機構
- C. 実行中のプログラムとその資源を管理する単位
- D. ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様

答え・解説

Q0069 正答：A. ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系

解説：インタプリタはソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0070

ソフトウェア・OS

タグ：インタプリタ

用語：インタプリタの確認ポイント7：ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系

「インタプリタ」は、ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0070 正答：×

解説：誤り。記述はAPIの説明である。インタプリタはソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系。

Q0071

ソフトウェア・OS

タグ：インタプリタ

用語：インタプリタの確認ポイント8：ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系

次の状況で中心となる論点はどれか。「ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系」ことが求められている。

- A. プロセス
- B. セマフォ
- C. インタプリタ
- D. API

答え・解説

Q0071 正答：C. インタプリタ

解説：中心となる論点はインタプリタである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0072

ソフトウェア・OS

タグ：インタプリタ

用語：インタプリタの確認ポイント9：ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系

「ソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系」という特徴を持つものを選び。

- A. セマフォ
- B. プロセス
- C. API
- D. インタプリタ

答え・解説

Q0072 正答：D. インタプリタ

解説：インタプリタが該当する。定義はソースプログラムを逐次解釈しながら実行する処理系であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0073

ソフトウェア・OS

タグ：API

用語：APIの確認ポイント1：ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様

次の説明に最も合う用語はどれか。ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様

- A. API
- B. 仮想化
- C. スレッド
- D. ファイルシステム

答え・解説

Q0073 正答：A. API

解説：APIは、ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0074

ソフトウェア・OS

タグ：API

用語：APIの確認ポイント2：ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様

APIの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術
- B. ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様
- C. プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位
- D. 記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み

答え・解説

Q0074 正答：B. ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様

解説：APIの要点は「ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0075

ソフトウェア・OS

タグ：API

用語：APIの確認ポイント3：ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「API」である。

- A. 仮想化：ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様
- B. スレッド：ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様
- C. API：ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様
- D. ファイルシステム：ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様

答え・解説

Q0075 正答：C. API：ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様

解説：正しい組合せは「API：ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0076

ソフトウェア・OS

タグ：API

用語：APIの確認ポイント4：ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様

「API」は、ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0076 正答：○

解説：正しい。APIはソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0077

ソフトウェア・OS

タグ：API

用語：APIの確認ポイント5：ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様

組織が「ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. API
- B. 仮想化
- C. スレッド
- D. ファイルシステム

答え・解説

Q0077 正答：A. API

解説：この目的に対応するのはAPIである。ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様という機能・考え方を持つためである。

Q0078

ソフトウェア・OS

タグ：API

用語：APIの確認ポイント6：ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様

「API」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 記憶装置上のファイルとディレクトリを管理する仕組み
- B. ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様
- C. プロセス内でCPU実行を割り当てる軽量の処理単位
- D. 物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術

答え・解説

Q0078 正答：B. ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様

解説：APIはソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0079

ソフトウェア・OS

タグ：API

用語：APIの確認ポイント7：ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様

「API」は、物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0079 正答：×

解説：誤り。記述は仮想化の説明である。APIはソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様。

Q0080

ソフトウェア・OS

タグ：API

用語：APIの確認ポイント8：ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様

次の状況で中心となる論点はどれか。「ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様」ことが求められている。

- A. スレッド
- B. ファイルシステム
- C. 仮想化
- D. API

答え・解説

Q0080 正答：D. API

解説：中心となる論点はAPIである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0081

ソフトウェア・OS

タグ：API

用語：APIの確認ポイント9：ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様

「ソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様」という特徴を持つものを選べ。

- A. API
- B. ファイルシステム
- C. スレッド
- D. 仮想化

答え・解説

Q0081 正答：A. API

解説：APIが該当する。定義はソフトウェアの機能を他のプログラムから利用するための仕様であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0082

ソフトウェア・OS

タグ：仮想化

用語：仮想化の確認ポイント1：物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術

次の説明に最も合う用語はどれか。物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術

- A. プロセス
- B. 仮想化
- C. スケジューラ
- D. コンパイラ

答え・解説

Q0082 正答：B. 仮想化

解説：仮想化は、物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0083

ソフトウェア・OS

タグ：仮想化

用語：仮想化の確認ポイント2：物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術

仮想化の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 実行中のプログラムとその資源を管理する単位
- B. 実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能
- C. 物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術
- D. ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系

答え・解説

Q0083 正答：C. 物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術

解説：仮想化の要点は「物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0084

ソフトウェア・OS

タグ：仮想化

用語：仮想化の確認ポイント3：物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「仮想化」である。

- A. プロセス：物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術
- B. スケジューラ：物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術
- C. コンパイラ：物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術
- D. 仮想化：物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術

答え・解説

Q0084 正答：D. 仮想化：物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術

解説：正しい組合せは「仮想化：物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0085

ソフトウェア・OS

タグ：仮想化

用語：仮想化の確認ポイント4：物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術

「仮想化」は、物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0085 正答：○

解説：正しい。仮想化は物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0086

ソフトウェア・OS

タグ：仮想化

用語：仮想化の確認ポイント5：物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術

組織が「物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. プロセス
- B. 仮想化
- C. スケジューラ
- D. コンパイラ

答え・解説

Q0086 正答：B. 仮想化

解説：この目的に対応するのは仮想化である。物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術という機能・考え方を持つためである。

Q0087

ソフトウェア・OS

タグ：仮想化

用語：仮想化の確認ポイント6：物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術

「仮想化」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. ソースプログラムをまとめて機械語などへ翻訳する処理系
- B. 実行可能な処理から次にCPUを割り当てる処理を選ぶ機能
- C. 物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術
- D. 実行中のプログラムとその資源を管理する単位

答え・解説

Q0087 正答：C. 物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術

解説：仮想化は物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0088

ソフトウェア・OS

タグ：仮想化

用語：仮想化の確認ポイント7：物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術

「仮想化」は、実行中のプログラムとその資源を管理する単位。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0088 正答：×

解説：誤り。記述はプロセスの説明である。仮想化は物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術。

Q0089

ソフトウェア・OS

タグ：仮想化

用語：仮想化の確認ポイント8：物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術

次の状況で中心となる論点はどれか。「物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術」ことが求められている。

- A. 仮想化
- B. スケジューラ
- C. コンパイラ
- D. プロセス

答え・解説

Q0089 正答：A. 仮想化

解説：中心となる論点は仮想化である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0090

ソフトウェア・OS

タグ：仮想化

用語：仮想化の確認ポイント9：物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術

「物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術」という特徴を持つものを選べ。

- A. コンパイラ
- B. 仮想化
- C. スケジューラ
- D. プロセス

答え・解説

Q0090 正答：B. 仮想化

解説：仮想化が該当する。定義は物理資源を論理的に分割・統合して複数環境を動かす技術であり、他の候補とは機能が異なる。